

## 第 716 回 新潟放送番組審議会 議事録

### — 議 題 —

テレビ番組「春のセンバツ W出場! ～新時代を拓く新潟旋風～」  
に関する意見交換

令和 8 年 4 月 17 日

**BSN**新潟放送

## 第 716 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 8 年 4 月 17 日(金)午前 11 時から

2. 開催場所 BSN 新潟放送 本社 6F 会議室

### 3. 委員の出席

○ 委員側出席者（敬称略・順不同）

委員長	馬場 省吾	副委員長	佐藤 元
委員	太田 勇二	委員	高橋 信
委員	馬場 幸夫	委員	大橋 未来子
委員	石坂 智恵美	委員	三井田 由香
委員	大橋 大河		

○ 放送事業者側

社長	島田 好 久
取締役	小 湊 潤（編成業務局担当役員）
報道制作局長	吉 井 秀 之

<説明員> 齊 藤 愛 拓（報道制作部制作担当）

事務局 長	間 瀬 学（編成業務局長）
事務局	品 田 泰（編成業務局テレビ編成部長）

### 4. 議 題

1 報告事項 「青少年に見てもらいたい番組」について  
放送番組の種別と種別毎の放送時間」について  
令和 8 年 4,5 月のネット単発番組・自社制作番組について(各担当)

2 審議番組 テレビ番組「春のセンバツ W 出場! ~新時代を拓く新潟旋風~」  
放送日時:2026 年 3 月 16 日(月) 10:25~11:20

### 5. 議事の概要

島田社長の挨拶、新任の大橋大河委員の就任ご挨拶、吉井報道制作局長の挨拶に続き、各担当者より放送番組の種別等の報告が行われた。続いて 3 月 16 日に放送されたテレビ番組「春のセンバツ W 出場! ~新時代を拓く新潟旋風~」についての審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- 新潟県にとって歴史的なセンバツ 2 校出場であり、地域を盛り上げる有意義な番組だった。選手や家族の思いが丁寧に描かれ、良質なドキュメンタリーになっていた。
- 2 校を交互に紹介する構成や途中で挟まる CM の影響により、どちらの学校の話をしているのか分かりにくい場面があった。テロップだけでなく、構成上の工夫が必要である。
- 春と夏での選考方法の違いや、過去(2011 年)にも 2 校同時出場があったことなど、背景説明がもう少しあると視聴者に親切だった。
- 3 月の放送時点で、1、2 年生が「2、3 年生」と表記されている理由についての説明が不足していた。
- 雪国という不利な環境を選手たちがどう捉えているかなど、新潟ならではの要素を選手の視点からさらに深掘りしてほしかった。
- 高校生の選手をナレーションで呼び捨てにする表現には違和感を覚えた。
- ベンチ入りできなかった選手への密着は番組として見応えはあるが、高校生の心情を考慮すると複雑な思いも残る。
- 丁寧に取材されているがゆえに全体的に広く浅くまとまっている印象があり、もう少し番組のテーマや伝えたいカラーに絞り込んだ構成でも良かったのではないかと。

～制作ディレクター 齊藤愛拓より～

貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。構成のテンポ感やテロップの出し方など、視聴者に分かりやすくする工夫が足りなかった点を反省しております。取材の制限や短い期間での制作でしたが、雪かきやラーメン店でのシーンなど、高校生らしい素顔を映せた部分は良かったと感じております。選考方法の違いや過去の事例など、背景説明が不足していたというご指摘、またナレーション表現に関する違和感などは非常に勉強になりました。初めての特番制作で学ぶことが多く、今回いただいた貴重なご意見を今後の番組づくりにしっかりと活かしていきたいと思っております。

【文責：番組審議会事務局】